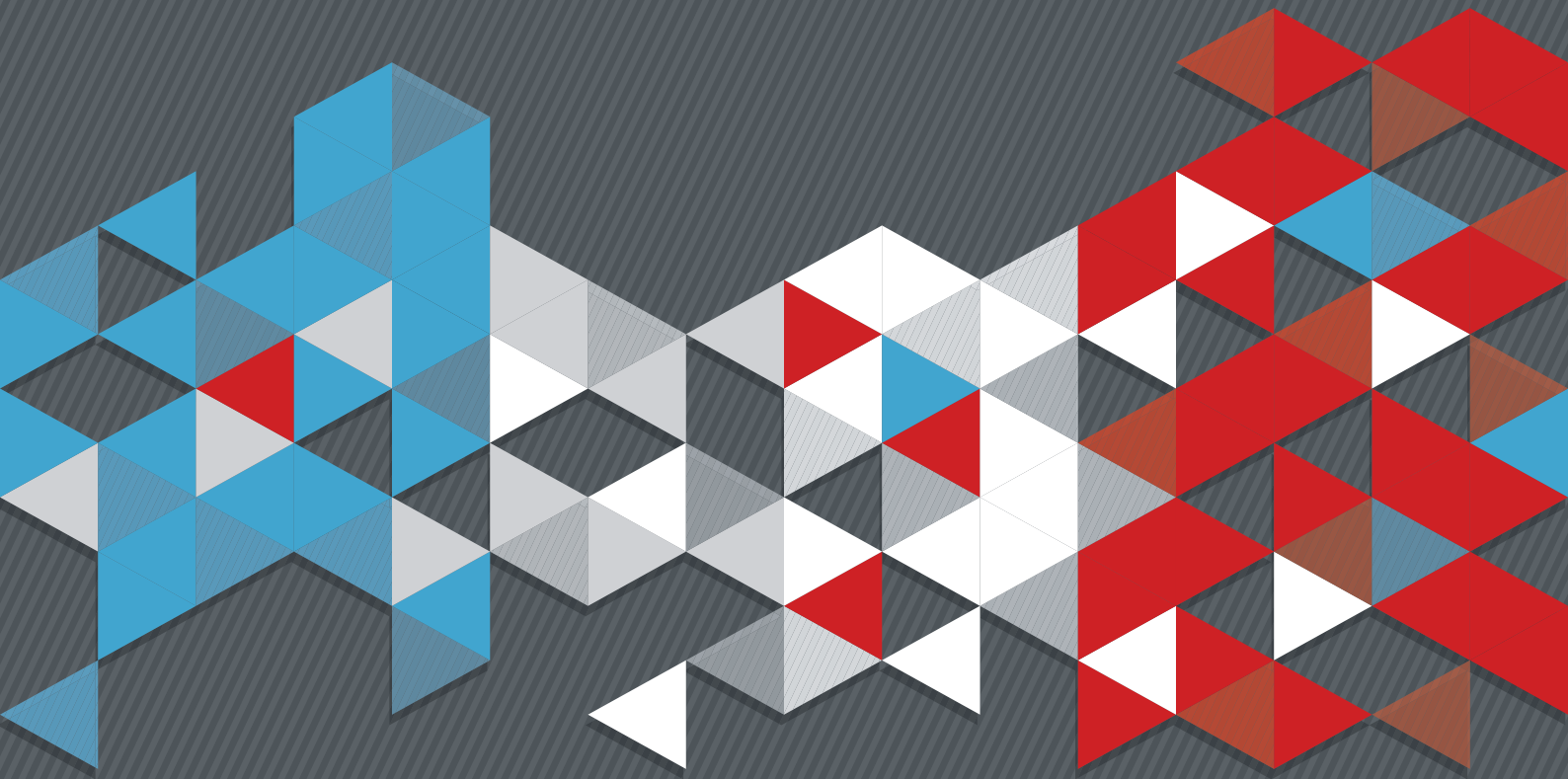


▶ Casa Argentina en **Japón**

カサ・アルヘンティーナ(アルゼンチン文化センター)

要旨



▶ “カサ・アルヘンティーナ”アルゼンチン文化センター

日本人は、アルゼンチンを代表するタンゴやワイン、サッカーに、高い関心を持っています。しかしながら、日本人が持っているアルゼンチン文化に対する興味はまだ十分に掘り起こされたとは言えず、またアルゼンチンの観光業統計が示す数値とはかけ離れているのが現状です。

観光業や文化活動は経済的に非常に大きな影響を持つもので、日本人観光客の特徴は、非常に高い利益率、年間を通して安定、歴史や文化的なものに関心が高いことがあげられます。

メルコスール東京事務所およびアルゼンチン政府観光局の統計によると、当地域への日本人観光客の割合は増加しています。(2011年は前年に比べ6%増加の2万300人の日本人観光客がアルゼンチンを訪問)

私たちは“カサ・アルヘンティーナ”(アルゼンチン文化センター)を日本に設置することで、より多くの日本人観光客を誘致できると考えています。文化センターの設置により、これらのニーズを満たし、各関係分野に利益を生み出し、文化の多様性を強化できるのです。

ブラジルには、アルゼンチンの約4倍の日本人観光客が訪問しています。アルゼンチンはブラジルの隣国であり、アルゼンチン文化であるタンゴは日本人に非常に関心が高いことから、“カサ・アルヘンティーナ”のオープンによってアルゼンチン単体だけでなく近隣国とともにアルゼンチンへの日本人観光客の誘致を行うことができると考えています。

このプロジェクトの目的は、継続的に以下のような活動の場を提供することです: クラス、ワークショップ、ショー、見本市、展示会、アルゼンチン人アーティストの招聘、アルゼンチン料理のレストランの運営、アルゼンチン各地域の特産品の販売など。

▶ 各分野にとってのプラス要素

文化:

- ▶ アルゼンチンの民族舞踊の普及
- ▶ 絵画、彫刻、デザインなど、アルゼンチンアートの認知度を高める
- ▶ アルゼンチン音楽、伝統音楽であるタンゴやフォルクローレだけでなく、ロックやポップ、フュージョン音楽といった現代音楽の普及
- ▶ アルゼンチンの伝統や習慣の紹介
- ▶ スペイン語や、タンゴと非常に関係の深いアルゼンチンならではの言い回し(レンファルド)の紹介
- ▶ 翻訳が必要となる文学や映画などの芸術文化の紹介の可能性も考慮に入れる

観光:

- ▶ アルゼンチンを訪問する日本人観光客の増加
- ▶ 多様な地形や自然、生態系にフォーカスした観光の振興

商業：

▶ それぞれの地域の特産品であるワイン、マテ茶、生キャラメル (dulce de leche)、生キャラメルサンドクッキー (alfajores) などの販売

飲食業：

- ▶ アルゼンチンの食文化や食べ物の普及
- ▶ 必要に応じ、日本とアルゼンチン両国の食文化の融合(フュージョン)をはかる

▶ ターゲット

主なターゲット：25～70歳。経済的に中流層、中上流層。さまざまなことを経験することに興味があり、偏見が少なく、アドベンチャーに関心が高く、新しい文化にオープンである。

▶ 設置場所の候補

東京の中心部で、人々の往来が多く、短期間で認知度を高められる場所。

▶ プロジェクトの実施

当プレゼンの目的は、このプロジェクトを実行するための方法を模索することです。

私たちは、アルゼンチンの文化を普及させる架け橋となり、このグローバル化の中で交流を深めるのに距離は関係ないと証明したいと考えています。そのため、文化の多様性を深めるためにも、この私たちの活動を支援をしてくださる方、知識や資本、情熱、価値、力を貸してくださる方を探しています。

Juan Federico Romero | (54-9-11) 4038-0932

Melina Ferszt | (54-9-11) 4037-9935

info@argentinaenjapon.org

